

二〇二一年度 社会福祉法人 南風会 事業報告

事業報告概況 法人全体

二〇二一年度（令和三年度）は、青梅学園の改築工事を終え、4月3日に竣工式、4月9日に利用者の引越しを無事に行えた。

法人全体としては、かすみの里、シャロームみなみ風、青梅学園と新築、改築を終え、障害者支援施設の完全ユニット、個室化し、日中活動場所と居住棟の分離を図り、利用者の個人的な生活（プライベート）を尊重しつつ、仲間と共に暮らす、その環境を整えられた。今後、20年間、借入金の返済を確実にしつつ、法人内の利用者の福祉の実現と、働きやすい職場を目指すとともに、地域社会への継続的な公益的活動を行う所存である。

新型コロナウイルス感染症対応が中心テーマにならざるを得ない1年となり、行事や保護者会の縮小、面会、帰省等の規制を余儀なくされた。職員も行動制限の中、皆よく協力してくれ、利用者には陽性を発生させないよう対応してきた。5月からは、職員に対するPCR検査を開始し、青梅学園、シャロームみなみ風の職員は毎週、かすみの里、ケアホーム南風の職員は、3週間に1回程度、非常勤も含めて実施した。擬陽性が出て、

受診し、陰性結果に胸をなで下ろした。定期的な検査が職員の行動規制にもつながったと思われる。令和4年になると、オミクロン変異種による第6波となり、これまでの感染力と違い、職員やその家族、利用者家族にも陽性者が現れた。実働職員の確保のため、東京都の補助を利用し、陰性の濃厚接触者の宿泊先を確保した。通所部門は、ご家族が感染の不安から、休ませることもあり、その対応として「在宅支援」ということが認められ、就労継続支援B型事業の運営規程もそれを付け加えた。生活介護事業は、運営規程を変更せず、特別の事情と行うことで、行政と確認しながら、進めてきた。皆様のご協力と努力で南風会の事業所では、利用者のクラスターを出さずに、この1年間を過ごしてきた。前年度から進めてきた人事考課制度の本格的な運用が始まり、考課者研修も行い、前期、後期の常勤職員の考課、非常勤職員の考課を行い、制度に慣れ、定着を図ってきた。永続可能な体制を整備すべく、ガバナンスの強化に力を入れ、進めてきた。

青梅拠点は、青梅学園が、4月9日に新園舎に引越しを行い、一人部屋、ユニットの生活、新しい活動室という変化があったが、

いつもの仲間、信頼できる職員とともにすぐに新しい園舎での生活に慣れたようである。様々な制限がされる中、一泊旅行を日帰り旅行に変更したり、納涼大会に地域のお客さんは呼べなかったが、ご家族と楽しみ、かき氷を食べるなどして楽しめていた。残念なことに、利用者が1名急な心肺停止になり、一時的に心肺は動き出したが、お亡くなりになった。

かすみの里は、前年度の再編成を受け、より充実したプログラムに変更した。就労継続支援B型事業では、受託作業としてベアリングの組み立てとチューブのマーク付け、組み立てを中心に行った。自主作業としてシフォンケーキ製造販売を行い、青梅市役所のだんだんでの販売を中心に、売り上げを上げ、目標賃金を大幅に上回る工賃の支払いを可能とした。生活介護事業では、働く生活介護では、午前中は、歩行訓練と音楽、音楽療法等を行い、午後は、作業を行うようにした。「銀のさら」のチラシの組み込みなどを大量に受注し、工賃アップに寄与出来た。重度のグループは、前年度から人数も減り、個別な指導も充実でき、エコバツクの作成などを他施設から依頼を受け、本人支給金の増額もはかれた。また、ケアホーム南風の短期利用なども引き続き行った。日向の家のバツクアップは、研修の協力程度で、コロナ禍で、訪問回数も少なくなっ

てしまった。ケアホーム南風も、新型コロナウイルス感染症の影響でご家族の陽性者発生により、週末帰省が中止となり、利用者にはなかなか理解できる説明が難しく、不安定になることも見られた。相談支援事業所くらしきは、青梅拠点の利用者を中心に、外部の相談者も対応してきた。知的障害者でない利用者もおおり、対応に苦労してきた。新宿拠点は、シャロームみなみ風も7年目を迎え、安定した運営が出来ようになつてきている。しかしながら、昨年度と同様、青梅拠点よりも新型コロナウイルス感染症対応は、深刻で、スタッフ、利用者とも発熱等、感冒症状がある度に通院し、PCR検査を行い、一喜一憂をしながらも守ってきた。職員や職員家族への陽性者が出たが、利用者には、感染予防をしながら、音楽療法など、楽しい活動を提供してきた。ご家族との面会や帰省は、ご遠慮いただくこともしばしばあった。就労継続支援B型・カフェおんぶらーじゅは、縮小を余儀なくされ、週末の夜の営業も自粛した。また、銭湯の閉鎖に伴う、掃除の作業が中止になった。利用者の収入が減ってしまうことを補うため、クレディ・スイス銀行のネット販売等、工夫をし、減収に対応してきた。通所の利用者の中には、コロナの関係で通所を自粛し、在宅支援を提供するケースも発生した。以上事業の概況報告とさせて頂きます。